

令和3年度森林づくり県民税活用事業について

林務部

[R3当初予算要求のポイント]

- 令和元年東日本台風や、激甚化する近年の自然災害を踏まえ、間伐等による防災・減災のための森林整備について体制を強化しながら実施
- 新型コロナウイルス感染症による県内林業、木材産業への影響の軽減を図るため、需要に応じた木材生産にシフトする林業事業体等の取組を支援
- これまでの取組の課題と成果を踏まえ、基本方針に掲げた目標の達成に必要な事業費の精査を行い、縮減した事業費を新たに必要な取組で活用
- SNS等を積極的に活用し、県民に対して第3期森林税の成果の見える化を図る。

予算要求額

992,341 千円 (基金繰入金) (前年度当初予算額 1,075,562 千円) 前年度比 92%

(単位：千円)

基本方針の柱	R3 要求額	R2 当初予算額	前年度比	主な増減理由
1 「防災・減災」及び「住民等の利活用」のための里山等の整備	597,450	750,300	80%	河畔林整備事業の減
2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用	194,934	115,325	169%	森林病虫害被害枯損木利活用事業の増
3 森林づくりに関わる人材の育成	11,362	9,952	114%	森林セラピー推進支援事業の増
4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用	85,945	97,027	89%	学校林等利活用促進事業の減
5 市町村に対する財政調整的視点での支援 (森林づくり推進支援金)	90,000	90,000	100%	
6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証	12,650	12,958	98%	
合計	992,341	1,075,562	92%	

1 防災・減災対策のための森林整備

➤ 間伐による森林の強靱化・健全化

(1) みんなで支える里山整備事業 (防災・減災のうち間伐)

- 集落周辺の未整備森林で間伐を実施し、防災等森林が有する公益的機能の発揮を図る。
- 令和3年度予算は前年度比 102%で要求し、里山の間伐を一層推進。

◆予算要求額：300,000 千円 (前年度当初予算額：295,000 千円)

(2) (新) 県直営による里山整備等 (防災・減災対策緊急治山事業ほか)

- 防災・減災の観点から緊急に整備を進める必要のある区域において、新たに県直営で整備を実施等。

◆予算要求額：36,000 千円 (前年度当初予算額：0 千円)

2 新型コロナウイルス感染症による影響の軽減

➤ 林業事業体の木材生産活動への支援

(拡) 森林病害虫被害枯損木利活用(チップ化)事業

- ・コロナ禍においても、林業事業体が安定的な需要のある「チップ用材生産」に取り組むことができるよう、松くい虫被害等による枯損木の利活用を支援。

◆予算要求額：100,000千円 (前年度当初予算額：18,000千円)

3 第3期森林税一斉点検を踏まえた事業見直し

- ・R2は第3期森林税の中間年に当たることから、成果目標や事業費等の一斉点検を実施。
- ・点検結果を踏まえ、厳に必要な事業費の精査を行い、5年間の総額で約0.8億円を縮減。

(単位：億円)

事業名	理由	増減
河畔林整備事業	効率的な事業執行に伴う事業費縮減	-0.7
里山資源利活用推進事業	事業費の精査による必要額の縮減	-0.1
合計		-0.8

- ・縮減した約0.8億円は、県直営による里山整備等森林税の基本方針に沿う新たな取組に活用。

4 森林税を活用した取組のPR強化

(1) SNS等のデジタル媒体による広報強化、多様な担い手の取組のPR

みんなで支える森林づくり推進事業 ほか

- ・コロナ禍でイベント等が減少することを想定し、SNS、動画、デジタルリーフレット等のデジタル媒体をフル活用して、県民の森林税に対する認知度向上を図る。
- ・里山資源を活用した「林福連携」の取組など、多様な担い手の活動を情報発信し、取組のすそ野を広げる。

◆予算要求額：10,777千円 (前年度当初予算額：11,181千円)

(2) 森林税成果の見える化

- ・インターネット上に森林税活用箇所を公開することで、県民誰もが森林税を活用して整備した森林や施設等を知ることのできる環境を整備し、県民の森林、林業の重要性に対する意識の向上及び森林税に対する理解の醸成を図る。

◆予算要求なし (上記「みんなで支える森林づくり推進事業」の範囲内で対応)

令和3年度当初予算(案) 森林づくり県民税活用事業 施策体系

※注) 〔新〕新規事業、〔拡〕拡充事業、〔防〕防災・減災等を踏まえ重点実施する事業

事業名	担当課室	事業概要	R3予算額(案) (千円)	R2当初予算 (千円)	増減 (千円)	主な増減理由
①「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備			597,450	750,300	△ 152,850	
1 〔防〕 みんなで支える里山整備事業 【防災・減災】	森林づくり推進課	「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所を絞り込み、間伐を推進	300,000	295,000	5,000	森林整備予定箇所の積上げによる増
2 〔防〕 みんなで支える里山整備事業 【ライフライン等保全対策】	森林づくり推進課	倒木によるライフラインへの被害や人的被害を防ぐため、ライフライン周辺や生活圏内の松くい虫枯損木等の危険木伐採を支援	40,000	50,000	△ 10,000	目標値の達成状況を踏まえ、実施箇所を精査
3 〔防〕 防災・減災対策緊急治山事業	森林づくり推進課	〔新〕 防災・減災の観点から緊急に整備を進める必要がある区域において、新たに県直営で整備を実施	35,500	0	皆増	災害時の応急対策及び防災・減災のための森林整備の実施による増
4 〔防〕 地すべり防止施設管理サポート事業	森林づくり推進課	〔新〕 里山に位置する地すべり防止区域における、施設の巡視や点検等を実施し、地すべりの再発の未然防止を図る。	500	0	皆増	地すべり防止区域の施設の巡視、点検等の実施による増
5 みんなで支える里山整備事業 【県民協働】	森林づくり推進課	ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備とともに、多面的な森林資源の利活用を促進。	82,000	110,000	△ 28,000	目標設定の見直しによる減
6 〔防〕 道路への倒木防止事業 (危険木の伐採)	道路管理課	異常気象時等に道路に倒伏する恐れのある危険木の伐採	10,000	45,000	△ 35,000	目標値の達成状況を踏まえ、実施箇所を精査
7 地域で進める里山集約化事業	信州の木活用課	小規模個人所有林、不在村者所有森林等が多い里山の森林整備を推進するため、間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、境界等明確化の取組を支援	6,750	5,600	1,150	補助事業者の要望増
8 〔防〕 河畔林整備事業	河川課	県が管理する一級河川の区域外(民地)の河畔林及び市町村が管理する準用河川区域とその周辺の河畔林のうち、防災効果が高い箇所の整備を推進	60,000	178,650	△ 118,650	目標値の達成状況を踏まえ、実施箇所を精査
9 里山整備利用地域活動推進事業	森林政策課	「里山整備利用地域」において地域住民による里山整備利用推進協議会の立ち上げ及び活動計画の作成を支援	42,000	44,000	△ 2,000	補助事業者の要望減
10 里山資源利活用推進事業	信州の木活用課	里山の資源を有効に活用する自立的・持続的な体制を構築するための資機材の導入等を支援	20,700	22,050	△ 1,350	補助事業者の要望減
② 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用			194,934	115,325	79,609	
11 地消地産による木の香る暮らしづくり事業	県産材利用推進室	【子どもの居場所】 県産材に囲まれた地域づくり及び未来における県産材利用を推進するため、児童センター等の「子どもの居場所」の木造・木質化や木のおもちゃ等の設置を支援	21,500	21,500	0	
12	県産材利用推進室	【木工体験活動支援事業】 木工体験に興味を持つ子どもを増やすため、木工コンクールや各地域の木工体験活動を支援	7,400	8,250	△ 850	補助事業者の要望減
13	県産材利用推進室	〔拡〕【木づかい空間整備事業】 県産材利用拡大に向けた普及啓発と県民の職場環境の改善を図るため、県民が多く訪れる民間施設・オフィス・県有施設の木質化・調度品設置を支援	49,350	40,800	8,550	民間施設等木質化支援の拡充による増
14	県産材利用推進室	【県産材公共サイン作成事業】 観光地等における案内標識の製作等を支援すること、県産材の魅力発信とともに外国人観光客の利便性向上を促進	10,000	23,025	△ 13,025	補助事業者の要望減
15	信州の木活用課	〔新〕【林業大学校教育環境整備事業】 地域住民等の利用も見込める食堂に木製ダイニングチェア等を導入	2,934	0	皆増	新規事業

事業名	担当課室	事業概要	R3予算額(案) (千円)	R2当初予算 (千円)	増減 (千円)	主な増減理由
16 薪によるエネルギーの地消地産推進事業	県産材利用推進室	里山の自立的・持続的な維持管理を図るため、身近な里山資源である「薪」を継続的に利用する仕組みを構築	3,750	3,750	0	
17 松くい虫枯損木利活用事業 (R3～:森林病害虫被害枯損木活用(チップ化)事業)	森林づくり推進課	〔註〕地域の課題である森林病害虫被害対策を推進するため、枯損木を木質バイオマス発電の燃料に資源化して利活用する取組等を支援	100,000	18,000	82,000	補助事業者の要望増及び補助対象に「カシノナガキクイムシ」の追加による
③ 森林づくりに関わる人材の育成			11,362	9,952	1,410	
18 里山整備利用地域リーダー育成事業	信州の木活用課	地域の持続的な森林管理の体制構築のため、里山を管理・利用する地域活動のコーディネートや技術指導等を行う人材、地域の里山を維持管理する人材を育成	3,119	2,621	498	研修経費の見直しによる委託料の増
19 森林セラピー推進支援事業 【人材育成等】	信州の木活用課	森林セラピーガイドの育成等を通じて、森林セラピーの利用促進とともに関連産業との連携を強化し、セラピー基地の魅力向上と利用者増を図る	4,472	3,973	499	セラピーガイド資質向上研修委託の増
20 エコツーリズムガイド人材育成事業	自然保護課	研修会の開催により、県内全域を対象にガイドを生業の一部とする人材の充実を図る	1,979	1,564	415	研修会の開催内容を見直したため(商品造成・企画立案に関する研修が実施できるよう講師を1名追加)
21 自然教育・野外教育推進事業	学びの改革支援課	・自然教育・野外教育推進会議メンバーにより開発したプログラムをブラッシュアップするため、モデル校で効果検証を実施 ・プログラムの周知と自然教育・野外教育の普及のためのリーフレットを作成	1,792	1,794	△ 2	
④ 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用			85,945	87,027	△ 1,082	
22 学校林等利活用促進事業	信州の木活用課	児童・生徒が森林・林業に親しみを感じ、次世代の森林づくりに理解を深めるとともに、学校林の活用を推進するため、手入れされず利用困難になっている学校林の整備を実施	15,176	17,975	△ 2,799	実施見込みの学校数の減
23 自然保育活動フィールド等整備事業	こども・家庭課	豊かな森林資源、自然環境を活用した「信州やまほいく」の認定園の活動フィールドの整備等を行うことにより、森林を活用した保育の安全性確保及び教育環境の充実を図る	5,325	5,325	0	
24 まちなかの緑地整備事業	都市・まちづくり課	市街地における木々に親しめる緑地の整備を集中的に推進するため、市町村及び民間団体が行う緑地の整備を支援	4,000	2,000	2,000	事業実施予定箇所の整備面積が前年度より、広範囲であるため
25 観光地の景観整備 (県東道南東部地域振興)	道路管理課	山岳高原リゾートを形成する観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施し、併せて街路樹管理技術の向上を図る	15,000	20,000	△ 5,000	目標値の達成状況を踏まえ、実施箇所を精査
26 観光地等魅力向上森林景観整備事業	森林政策課	豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図る	35,000	35,000	0	
27 森林セラピー推進支援事業 【施設整備等】	信州の木活用課	森林セラピー基地の整備等を通じて、森林セラピーの利用促進とともに関連産業との連携を強化し、セラピー基地の魅力向上と利用者増を図る	11,444	16,727	△ 5,283	セラピー基地施設整備支援実施箇所の精査による減
⑤ 市町村に対する財政調整的視点での支援			90,000	90,000	0	
28 森林づくり推進支援金	森林政策課	森林づくり指針に掲げる方針を踏まえつつ、森林に関する様々な課題解決のための取組を支援。	90,000	90,000	0	

事業名	担当課室	事業概要	R3予算額(案) (千円)	R2当初予算 (千円)	増減 (千円)	主な増減理由
⑥ 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証			12,650	12,958	△ 308	
29	森林政策課	【みんなで支える森林づくり推進事業】 森林の役割や森林づくりの重要性等について、県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動を実施 県民会議・地域会議による森林税活用事業の評価・検証を実施	7,000	9,723	△ 2,723	ホームページ作成委託料の減
30	森林づくり推進課	【SDGs森林の再生発信事業】 植樹活動を通じて長野県のSDGsの取組を世界へ発信し、SDGsの重要性や長野県等を普及促進する。	568	568	0	
31	都市・まちづくり課	【花フェスタ記念事業】 都市緑化の継続とグリーンインフラの推進に向けた機運を醸成するためのイベント等を開催	495	890	△ 395	フェア翌年のイベントは2回を予定していたが、来年度は1回のみで開催となるため
32	信州の木活用課	新【林業総合センター(体験学習の森事業費)】 林業総合センターで開催する森林教室等の参加者に森林税を活用した里山整備等の取組を紹介	1,954	0	皆増	森林税活用事業に変更(森林税の使途拡大)
33	森林づくり推進課	新【戸隠森林植物園・森林学習館管理費】 戸隠森林植物園の森林学習館に新たに森林税の取組をPRするコーナーを設置	760	0	皆増	一部森林税活用事業に変更(森林税の使途拡大)
34	信州の木活用課	里山や山村集落へ果が仲立ちとなり企業等の社会貢献活動や福利厚生活動を誘導し、森林整備と交流を通じた地域活性化を図る。	1,002	1,002	0	
35	県産材利用推進室	県産材住宅や事務所・店舗を木質化した企業等に対し木材のCO2固定量を認証し、地球温暖化防止や環境への関心を高めるとともに、県産材の消費拡大を促進	400	400	0	
36	森林づくり推進課	企業等との連携により整備された森林のCO2吸収量を認証し、企業等のCSR活動の「見える化」を通じて地球温暖化防止につながる森林整備を推進	471	375	96	懇談会開催費用の増
合 計			992,341	1,075,562	△ 83,221	

【再掲:部局別】

部 局 名	R3予算額(案) (千円)	R2当初予算 (千円)	増減 (千円)
林 務 部	893,750	820,339	73,411
建 設 部	89,495	246,540	△ 157,045
環 境 部	1,979	1,564	415
教 育 委 員 会	1,792	1,794	△ 2
県 民 文 化 部	5,325	5,325	0
合 計	992,341	1,075,562	△ 83,221

